

Annual Program Progress Report 2016

2016年 プログラム近況報告

タンザニア ムゲラ地域開発プログラム

ご支援によりムゲラ地域の子どもたちの生活が
改善しています



ムゲラ地域開発プログラム マネージャー
シュクラニ・ディクソン

ムゲラ地域の子どもたちと地域住民へのご支援に感謝します。ご支援により、子どもたちの生活が改善されています。最も大きな成果は、5歳未満の子どもたちの多くが必要な予防接種をすべて受けられたことです。また、教育の質も向上しています。しかしながら、きれいで安全な水を利用できない地域もたくさんあり、多くの課題があります。尊いご支援により、子どもたちの生活に変化をもたらす活動を継続できますことに、心より御礼申し上げます。

2016年のムゲラ地域での主な成果

ご支援により、ムゲラ地域の子どもたちの生活に多くの変化がもたらされました

健康状態が改善しました

子どもたちが病気から守られました。9つの診療所に冷蔵庫を稼働させるためのガスボンベが支給されたため、ワクチンの供給量を増やすことができ、**4,400**人以上の5歳未満の子どもたちが必要な予防接種をすべて受けることができました。

教育を受けました

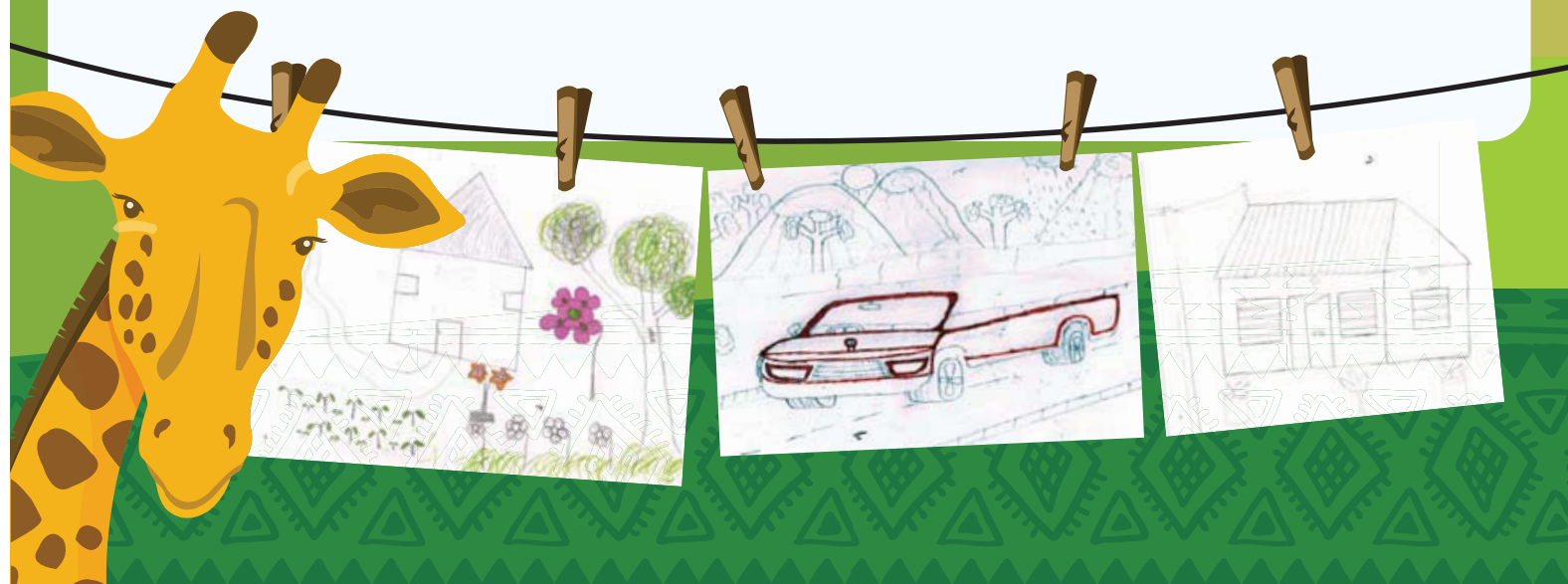
子どもたちは学業でも成果を上げています。就学前教育を受けた**250**人以上の幼児や、**12**の小学校に通う**900**人近い生徒たちの、読み書き・計算の能力が向上しています。これは**30**人以上の教員が、子どもたちが理解しやすい新しい教授法を学んだ成果です。

地域の人々の中で大切に保護されて成長しました

子どもたちにはきれいな飲み水があります。地域の村の一つでは水プロジェクトが完了し、**1,050**世帯の**8,800**人以上の人々が安全な水を得られるようになりました。これにより、汚染された水が原因で発生する下痢などの病気から子どもたちを守れるようになりました。

価値ある存在として尊重され愛情を受けました

人々の意識が変革され、女子も男子と平等で大切な存在だという認識が広がっています。地域では女子は子どもを産み家庭を支えることが期待されていたため、女子教育の優先度が低いという課題がありました。しかし、女子教育の大切さについて**2,300**人以上の親たちに啓発活動を行った結果、より多くの女子生徒が学校に通えるようになり、女子の就学率が**80%**まで向上しました。





「以前は床に座って授業を受けていました。でも今は机とイスのおかげで、書くのも勉強するのも楽になりました。」

ムワナハミシちゃん(8歳)



「これまでは伝統的に、女子はFGM(女性器切除)を受けることが慣習とされてきました。でもその悪い影響について学び、私たちの村ではこの慣習に反対するようになりました。」

アナちゃん(12歳)



「私の畑の収穫は以前の8倍になりました。残った野菜を売り、子どもたちの学費を払えるようになりました。」

ムワジュマさん(農家)



「子どもたちは安全ではない水を飲んでよく下痢になっていました。でも今はきれいで安全な水が家の近くにあるので、子どもたちは体調を崩すことがなくなりました。」

ラザロさん(地域の母親)

命を救うワクチンを守る



保健センターでは子どもたちのための
ワクチンを安全に保管できるようになりました

「私たちの保健センターでは、ワクチンの効果が保たれるよう冷却し、保管しておけないことが大きな問題でした。これまでは舗装されていない悪路を通過して80キロも離れた地域までワクチンを取りに行かなくてはならず、移送の途中でワクチンの質が悪化してしまう恐れがありました。ワクチンは熱や光に当たると、使えなくなってしまうのです」と村落保健員のフィキリさんは言います。

「ワールド・ビジョンがすべての保健センターにガスボンベを設置してくれたことで、この問題を解決することができました。ガスボンベがあれば、冷蔵庫でワクチンを冷やして安全に保管し、その効果を保つことができます。

必要なときにワクチンを接種できるので、子どもたちの健康状態を改善することができました。今ではほとんどの子どもたちが必要な予防接種を全て受けることができ、元気に生活できています。」

お問合せ先
特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン
電話：03-5334-5351 (平日9:30～17:00)
e-mail: dservice@worldvision.or.jp
ホームページ: www.worldvision.jp

プログラム番号: TZA-183537

タンザニア ムゲラ地域開発プログラム (TZA-183537)
2015年度 (2014年10月1日-2015年9月30日)

会計報告

プログラム支援額	(単位:円)
チャイルド・スポンサーシップ当期支援額	53,492,232
前期からの繰越額	1,690,819
プログラム支援額合計	55,183,051

プログラム支出額	
保健衛生プロジェクト	15,330,317 ●
生計向上プロジェクト	19,344,982 ●
スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト	17,177,055 ●
プログラム支出額合計	51,852,354
次期繰越額	3,330,697

活動内容

+ **保健衛生プロジェクト**

- ・下痢やマラリア、HIV/エイズ、結核等の病気の予防
- ・母子の栄養状態改善
- ・母子保健サービスへのアクセス改善
- ・HIV/エイズ予防のための啓発活動やエイズとともに生きる人々への支援

\$ **生計向上プロジェクト**

- ・適切な農業技術の普及
- ・収穫後の適切な貯蔵方法の指導
- ・商品作物の栽培を通じた収入創出
- ・貯蓄組合の形成や小規模金融機関との連携

スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト

- ・手紙や成長報告を通じたチャイルドとの交流
- ・チャイルドの定期的なモニタリング
- ・「子どもを中心とした開発」についての啓発活動